

PRESS RELEASE

報道関係各位

2022年10月28日

株式会社ノースブル

【和牛オリンピックイベントレポート】

「和牛受精卵」移植技術のノースブル出展ブースに約2,000人が来場 特許取得の模型を使った和牛受精卵の移植体験などが好評

和牛受精卵の生産・販売・移植・技術開発を行う株式会社ノースブル(本社:宮城県仙台市、代表取締役:菅原紀)は、10月6日(木)~10日(祝・月)の5日間鹿児島にて開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」に協賛。和牛受精卵の移植体験や、畜産関係者や酪農関係者向けの経営相談会などを行うブースを出展いたしました。



「全国和牛能力共進会」(通称:和牛オリンピック)は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会。5年ぶりとなる今大会は畜産王国・鹿児島県にて開催され、来場者数は5日間合計で30万8千人にもものぼりました。

今回、株式会社ノースブルは、和牛の受精卵の買い取りから生産、そして乳牛への移植・販売までを一貫して行う和牛受精卵移植技術のリーディングカンパニーとして、より多くの方々に和牛受精卵移植の技術や弊社の取り組みについて身近に感じていただけるよう、今大会へ協賛、および企業ブースを出展。ブースは連日多くの方で賑わい、大会期間を通して約 2,000 人を超えるお客様に当社ブースへとご来場いただきました。

●イベントレポート



子宮頸管の模型を使った移植体験

今回来場者の方に最も好評だったのが、和牛受精卵の移植体験。特殊メイク・特殊造形等を手掛ける株式会社 ZOMBIE STOCK(本社:東京都大田区、代表取締役:中田彰輝)と共同開発し特許も取得している牛の子宮頸管模型を使ったこちらの体験ですが、畜産・酪農関係者から一般のお客様、学生まで、多くの方が立ち止まり体験をしてくれました。

実際に体験をした現役移植師の方からは「かなり本物に近い状態で再現されていると思う、現場以外で技術練習できるのは驚き」というコメントをいただきました。



顕微鏡で実物の受精卵を観察



連日多くの方で賑わったブース

また、今回同じく体験型コンテンツとして顕微鏡にて受精卵を見る体験も用意。こちらも普段なかなか目にすることがない和牛受精卵を実際に見ることができるということで、多くの方にご参加いただくことができました。

これらの体験コーナーに参加した学生からは「授精師や移植師の免許を取りたいと考えていたけど、具体的にどのようなものかイメージがわいていなかったので、技術や仕事のイメージがわきました」というコメントをいただくなど、自分で“やってみる”体験を通して和牛受精卵の技術について

知っていただくきっかけへと繋げることができました。



多くの来場者様より SNS にも投稿頂いた

その他、畜産関係者や酪農関係者、移植師向けに和牛受精卵や経営に関する相談窓口を設けたほか、SNS で発信をしてくれた方 1 日先着 50 組にオリジナルエコバッグ、公式 LINE に登録してくれた畜産・酪農関係者に液晶温度計、体験ブース参加者へステッカーなど、オリジナルのノベルティグッズを配布。

全国各地から畜産関係者、酪農関係者、獣医師、移植師、そして学生など、さまざまな方よりブースへと足を運んでいただきました。

●株式会社ノースブル 菅原 紀代表取締役のコメント

「世界に誇る日本食文化の宝、和牛を盛り上げていこう」という皆様の気持ちが随所に光った今大会の一員として当社も携わることができ、大変光栄でした。

当初、移植体験や顕微鏡体験は一般のお客様にはハードルが高い内容かと思っておりましたが、蓋を開けてみると思いがけず一般のお客様や学生の皆様にもご参加いただくことができ、当社メンバーも楽しみながらたくさんの方々と交流することができました。

今大会でできたつながりを糧に、畜産・酪農業界の課題解決に向け引き続き邁進してまいります。

●「第 12 回全国和牛能力共進会鹿児島大会」とは

「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会です。審査は、種牛(雄牛・雌牛)の姿・形の体型の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「種牛の部」と、肉質を審査する「肉牛の部」があります。第 12 回鹿児島大会からは、「高校及び農業中学校」の部も新設。全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会となっています。

<大会公式サイトはこちら>

<https://zenkyo-kagoshima.com/>

●ノースブルについて

「技術を高めチャレンジできる環境を 高度な技術で日本の農業経営にゆとりを 社員と農業経営者の笑顔をつなぐ企業を目指す」というビジョンを掲げ、和牛農家から和牛の受精卵を買い取り、乳牛に和牛の受精卵を移植・出産させるビジネスを行っています。

受精卵生産を行う直営牧場、移植業務を行う人工授精所、受精卵販売、日々研究が進む最新技

術を生産現場の利益に結びつける技術開発、それに伴う技術者のトレーニングシステムを構築することで、高品質な受精卵を生産することを可能に。2015年に事業を本格的に稼働開始、その年の農林水産省の体内受精卵移植及び体外受精卵移植の実施状況報告において全国4位、東北1位の実績を収めており、以降着実に受精卵移植数を伸ばしています。

【会社概要】

名称: 株式会社ノースブル

本社: 宮城県仙台市青葉区芋沢字青野木343-2

TEL: 022-796-3988

設立: 2011年8月8日

代表: 代表取締役菅原紀

事業内容: 牛受精卵の生産・移植・販売・管理指導・技術開発

HP: <https://www.northbull.jp>

株式会社ノースブルのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/77032